

[脳神経外科]

[研修目標]

脳神経外科学の診療の基本を理解し習得する。

[研修指導医]

澤下光二(脳神経外科医長)

日本脳神経外科学会専門医、臨床研修指導医

中山禎司(院長補佐、脳神経外科)

日本脳神経外科学会専門医、救急科専門医、浜松医科大学臨床教授、臨床研修指導医、日本脳卒中学会専門医、日本脳卒中の外科技術指導医

[研修コース]

各科ローテートの一環として、一般臨床医に求められる脳神経疾患の基本的な診察知識・手技を修得する。1 ヶ月程度の研修を予定しているが、希望に応じて研修期間を変更できる。

[研修指導体制]

指導医の指導のもとで研修を行う。

[研修内容および到達目標]

- ① 頭痛、目眩、痙攣などの徴候を正確に把握することができる。神経所見がとれる。
- ② 意識障害の程度を適切に表すことが出来、意識障害の鑑別ができる。
- ③ 神経画像診断が確実にできる。脳波の基本が理解できる。
- ④ 腰椎穿刺が安全に実施でき、髄液検査を解釈できる。
- ⑤ 穿頭術、開頭術の基本が理解できる。
- ⑥ 脳血管障害の診断及び初期治療ができる。
- ⑦ 頭部外傷の初期診断及び初期治療が出来る。
- ⑧ 脳神経外科関連の英文雑誌を読むことが出来る。